

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E111B002		教育本質論(Study of Essentials of Education)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	1	教育学部			氏名 吉野 敦 E-mail ayoshino@oita-u.ac.jp 内線 7539											
授業の概要	本授業では、教育思想史や教育史の分野で蓄積されてきた知見を学ぶことを通じて、「教育」や「学校」といった普段は自明視されがちな教育事象の「本質」や「原理」についてみずから批判的に考える力を獲得することを目指す。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 教育に関わる基礎的諸概念について、教育思想史および教育史の知見を援用しながら説明できる																	
目標2 日本および世界の教育の歴史について説明できる																	
目標3 現代社会に固有の教育課題について、みずからの見解を述べる事ができる																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 導入：「教育」とは何か																	
2 「教育学」とはどんな学問か																	
3 「学校」とはどのような場所か																	
4 「教える 学ぶ」という営みのとらえ方																	
5 「子ども」とはいかなる存在か																	
6 教育をめぐる思想史																	
7 近代教育史：西洋																	
8 近代教育史：日本																	
9 教育における「近代」を批判的にとらえるために																	
10 家庭教育と学校教育																	
11 教育と権力																	
12 教育における競争は公平か																	
13 現代の教育課題：子どもの権利と学校参加																	
14 現代の教育課題：教育とジェンダー																	
15 現代の教育課題：子どものコミュニケーション																	
ラ ッ ク ニ テ ン イ グ レ ッ プ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造					レポート作成、グループでの討議、授業の振り返りコメント作成	工 夫 そ の 他 の	必要に応じてMoodleを活用する。									
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	配布資料の予習(10h)															
	事後学修	配布資料および授業ノートの復習(10h)、レポート作成(25h)															
教科書	特に指定しない。適宜、資料や参考文献を指示・配布する。																
参考書	文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)』																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	レポート	80%															
	授業後のコメントシート	15%															
	授業への参加態度	5%															
注意事項																	
備考																	
リンク	URL																